

2022. 10. 30

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園ニリンソウを守る会植物モニタリング活動

赤塚公園ニリンソウを守る会は

●月3回の植物観察・記録活動（モニタリング）と

●時期に応じたニリンソウ自生地の保護活動を行っています

いずれも、団体活動ではなく参加者の自由な意思による自主活動として取り組んでいます。

活動現場での飛び入り参加も歓迎！ 雨天は小雨でも中止

<問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>

センターロビーの植物の動き表と 季節の植物写真を更新しました

赤塚公園サービスセンターと友の会の秋のイベントである「どんぐりまつり」も無事終了し、これから冬に向かっては12月の「クリーンアップ月間」が控えています。それが終わると、早くも来年のニリンソウ月間の準備が始まります。

さて、センターロビーに常時掲出している季節ごとの「植物の動き」の表と写真での紹介も、冬の季節に合わせて作り変えました。

今回はいくつかの工夫をしました。これまでは、観察活動を始めた2016年から2021年までに各植物の開花時期などの経年変化が分かるような表を作っていたのですが、観察活動も7年目を迎えると1つの種の表が大きくなって全体を表示すると膨大な量になってしまうことから、過去数年間でいちばん早く開花した時期と、いちばん遅くまで花が咲いていた時期を1本の表に収めて作成しました。そして、植物の花があまり観察できなくなった秋（10月～11月）から厳冬期（12月～1月）を経て、春の初め（2月）までの植物の動きが分かるようにしました。

植物の動きの表から読みとれること

表のいちばん左側は10月ですから、まだ秋の季節です。この季節に咲いた花で冬に差し掛かるまで咲いている種がたくさんあります。また、表のいちばん右側のまだ春にならない時期ですが、ここでは早くも春の花が咲き始めていることが分かります。

さらに、この表から厳冬期（12～2月）だけを抜き出したのが次ページ以下の表で、この時期に観察された花と実を写真パネルにして掲出しました。

こうすることによって、①春の花は前年の寒い時期から葉を展開（展葉）していることがよく分かります。これはごく普通のことなのですが、それでも展葉期が早まっている種が目立ちます。②夏・秋の花の終わりの時期が伸びている種がかなりあること、③春の花の開花期が早まっていること、さらに、④かつては暖かい季節に開花していた植物の中で通年開花するようになった種があることも見えてきました。地球温暖化はわたしたちの暮らしの中にも及んできているわけです。

何はともあれ「花が見られないから面白い！」と思われてきた冬の季節でも、よく見ればたくさんのお花と実、そして「春の予感」を感じることができる赤塚公園。ゆっくりお楽しみください。

